



この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。
以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。
取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

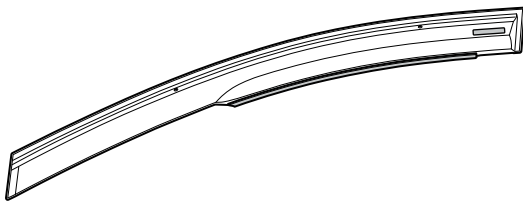
1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損のないことを確認して下さい。
2. 取り付け前に取り付け車両の型式の確認を行って下さい。
[適合車種] F R E E D A I R 5 B A - G T 1 ・ 3 / 6 A A - G T 5 ・ 7
 F R E E D C R O S S T A R 5 B A - G T 2 ・ 4 / 6 A A - G T 6 ・ 8
3. 純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。
4. 本製品の改造、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんので御了承下さい。
5. 作業環境として20℃以上の温度が保てる場所での作業を推奨します。
6. 両面テープの接着不良を防ぐ為、取り付け後は最低1日以上水が掛からない様にして下さい。

1. ベンチレーテッド バイザーが事故や接触等により、破損・変形した場合は、直ちに修復するか取り外して下さい。そのままの走行は、事故発生の原因になる恐れがあり、大変危険です。
2. ベンチレーテッド バイザーが汚れた場合は、スポンジに水で薄めた中性洗剤をつけ、水洗いを行い、水分をウエス等で拭き取って下さい。溶剤、薬品等は、ベンチレーテッド バイザーを痛めますので絶対に使用しないで下さい。
3. ご使用に際しては、6 ページ目の「取扱上の注意」をよくお読みになり、ご理解の上ご使用下さい。
4. 定期的にブラケットやピンのゆるみ、ガタ等を点検し、取り付け状態を確認して下さい。
5. ウインドウガラスの汚れを拭き取る際に、ゴムモールに強く触れますと剥れる恐れがありますので、ご注意ください。また、ガソリンスタンド等でも注意を促して下さい。
6. 自動洗車機での洗車は避けて下さい。ベンチレーテッド バイザーに無理な力が加わり、破損の原因となったり、エンブレムの剥がれに繋がる場合があります。
7. エンブレムは長時間、雨滴等の水分が付着した状況に置かれた場合、表面が白く濁ることがございますが、使用している材質（塩化ビニル樹脂）の特性で異常ではございません。乾燥後に復元致します。

【 構成部品表 】

No.	PARTS NAME.	QTY.
①	フロントバイザー（L）	1
②	フロントバイザー（R）	1
③	リアバイザー（L）	1
④	リアバイザー（R）	1
⑤	ブラケット（刻印A～D）	2
⑥	ブラケットピン	8

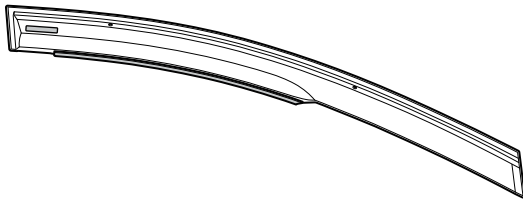
①



③



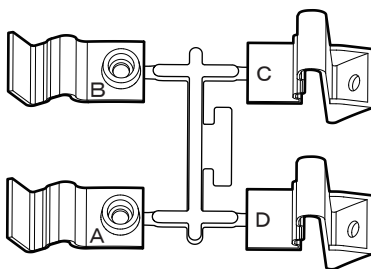
②



④



⑤



⑥



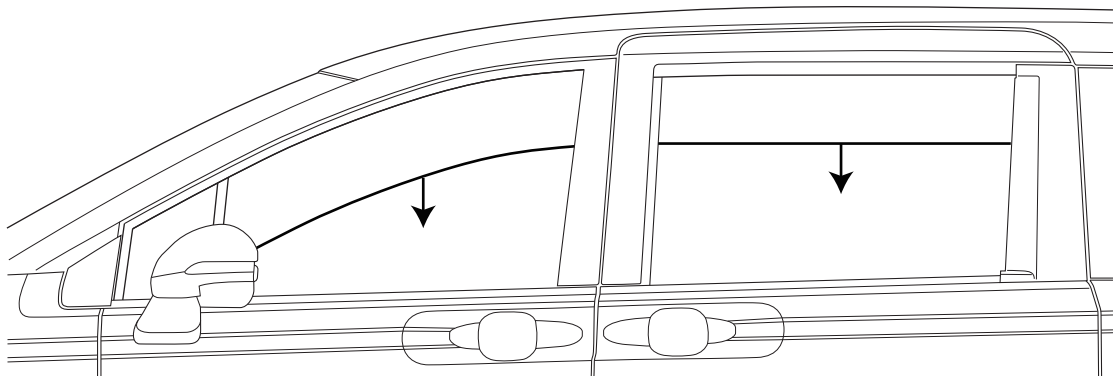
【 必要工具 】

- ・ ニッパー
- ・ クリップリムーバー
- ・ スケール
- ・ イソプロピルアルコール
- ・ ウェス
- ・ マスキングテープ

I. 取付準備

- 《注意》・ベンチレーテッドバイザーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。
・作業は左右同様に行うこと。

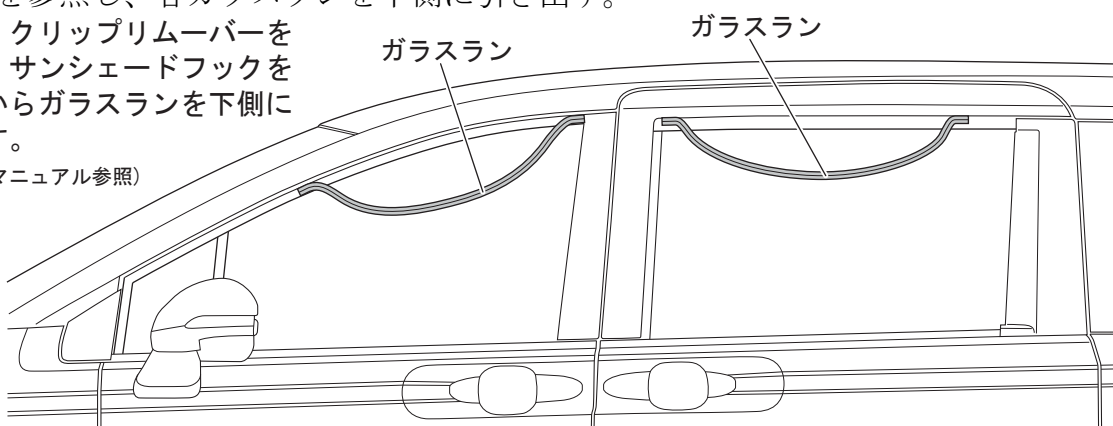
1. 各ウィンドウガラスを下げる。



2. 下図を参照し、各ガラスランを下側に引き出す。

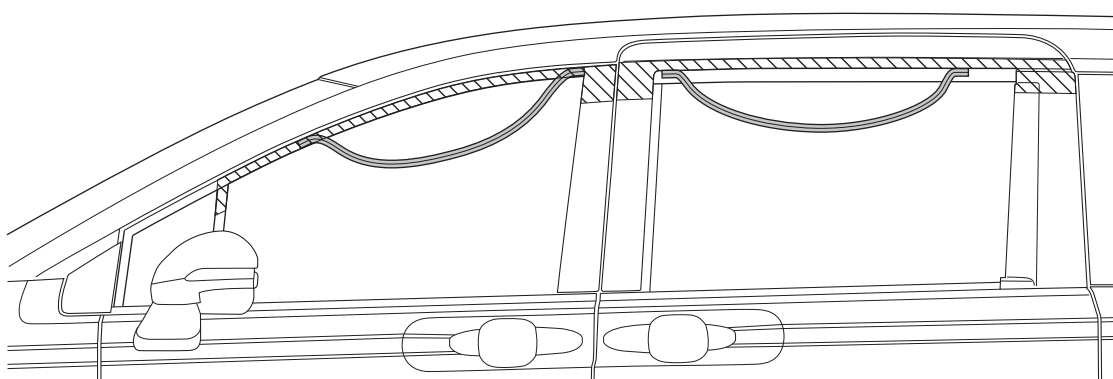
※リアは、クリップリムーバーを使用し、サンシェードフックを外してからガラスランを下側に引き出す。

(サービスマニュアル参照)



3. 各ドアパネルの両面テープ接着面を、イソプロピルアルコールで脱脂洗浄する。

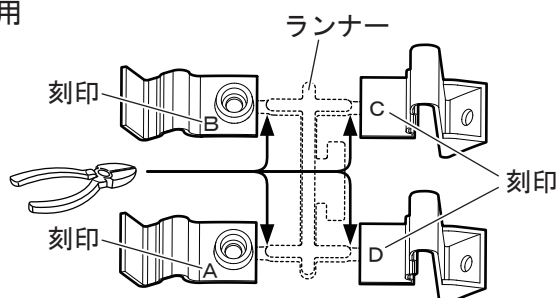
 脱脂洗浄部



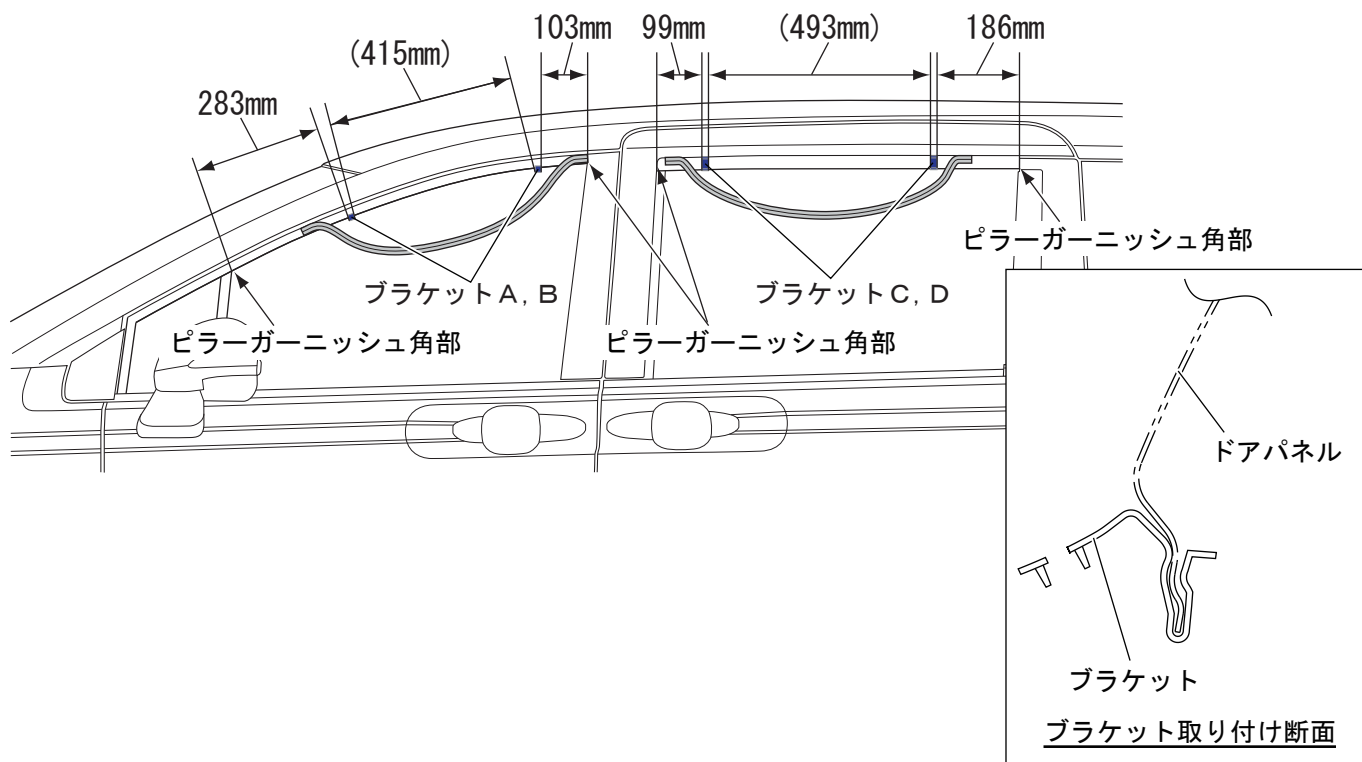
4. ブラケットをランナーから切り離す。

※刻印A, B : フロント用

C, D : リア用

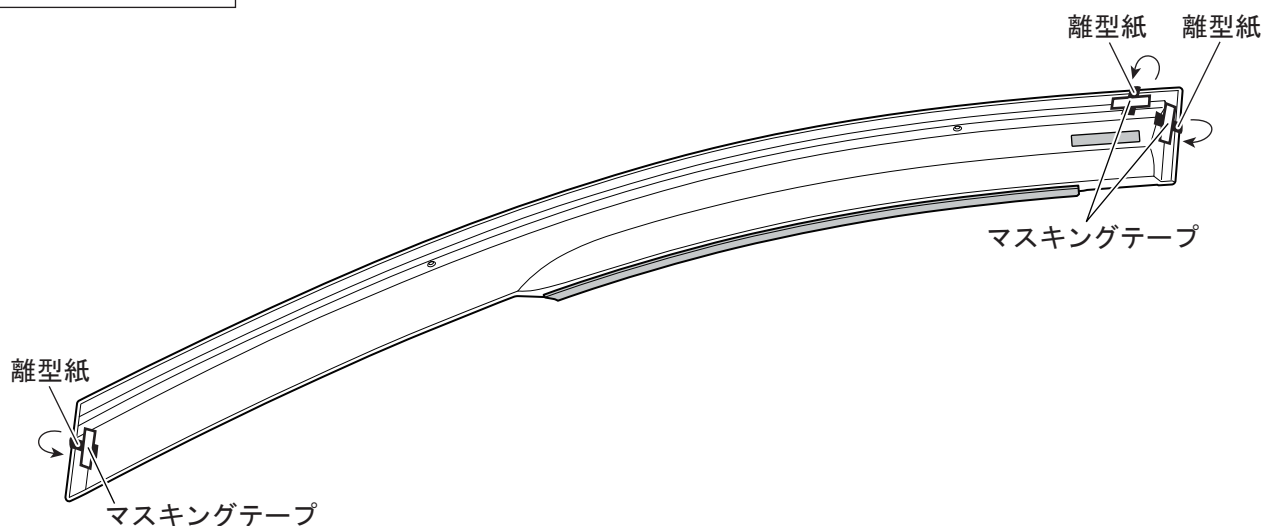


5. 下記要領にて、全てのブラケットを各ドアパネルに取り付ける。その後ガラスランを元に戻し、ベンチレーテッドバイザーを仮当てし、各ブラケット位置を調整する。
※下記は目安寸法（フロント/リアドアピラーガーニッシュからブラケット端部までの距離）

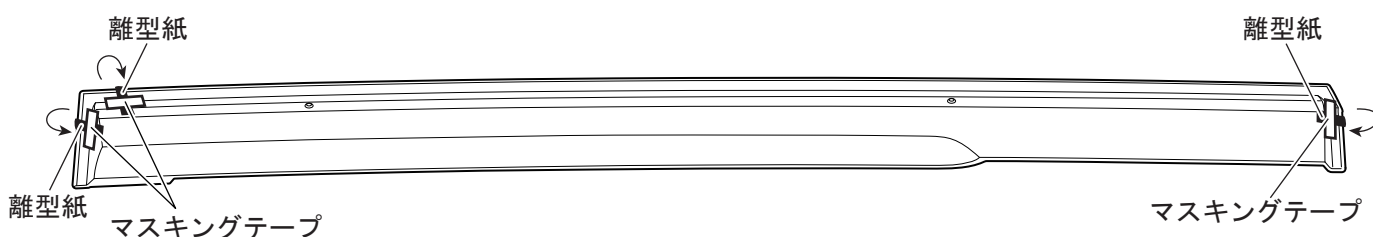


6. ベンチレーテッドバイザーの両面テープの離型紙を剥がし、表面に折り返してマスキングテープで固定する。

フロントバイザー



リアバイザー

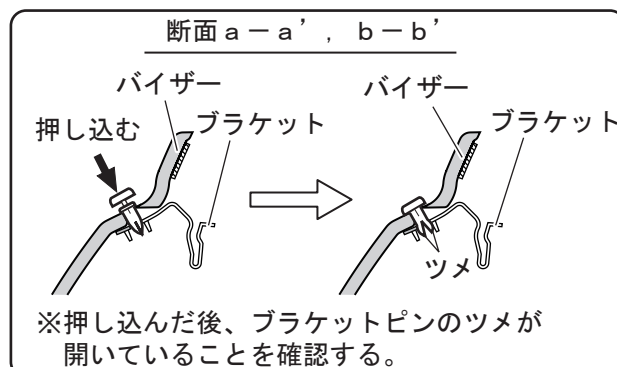
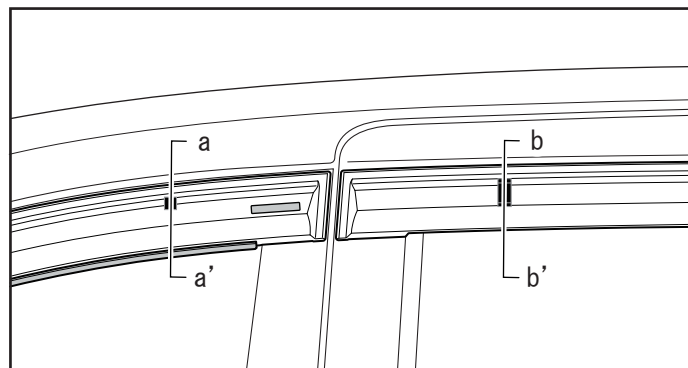


II. ベンチレーテッドバイザーの取付

《注意》・ベンチレーテッドバイザーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。

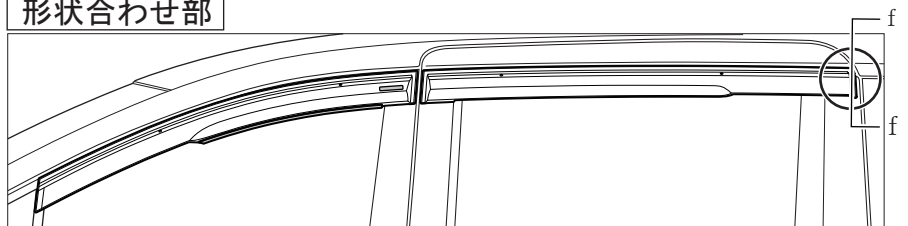
- ・作業は左右同様にすること。
- ・両面テープの接着不良を防ぐ為、取り付け後、最低1日以上は水がかからないようにすること。

1. ブラケット位置を合わせて、バイザーと全てのブラケットをブラケットピンで固定する。
(断面 a-a' , b-b')

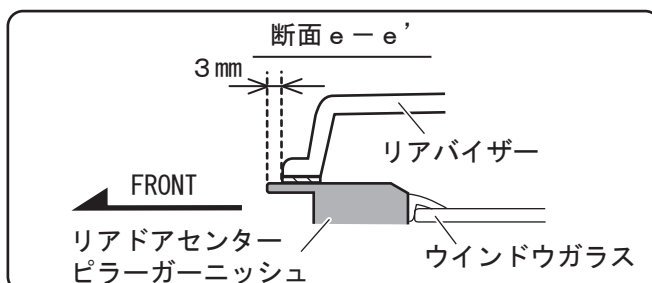
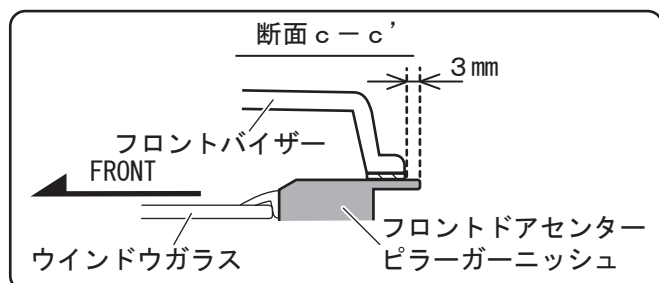
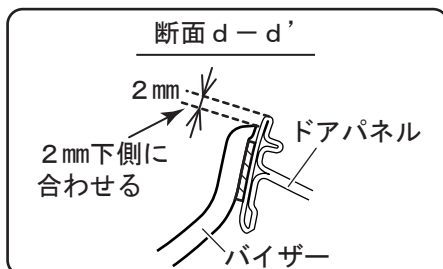
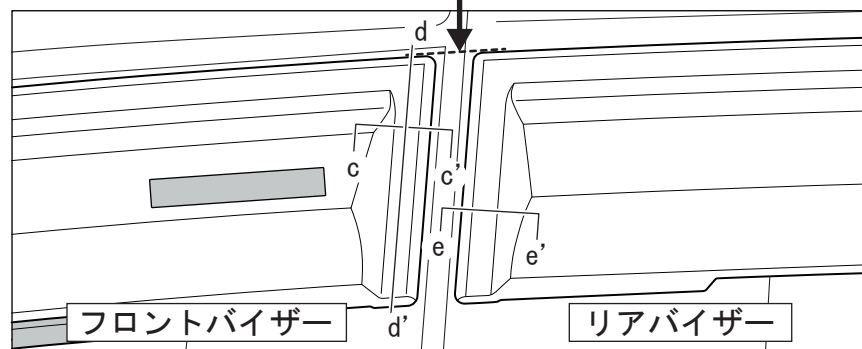
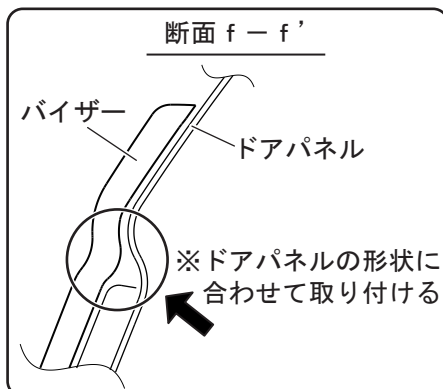


2. ①②フロントバイザー(L/R)の長さ方向の位置決めは、フロントドアセンターピラーガーニッシュ後端より3mm内側にフロントバイザーの後端を合わせる。(断面 c-c')
3. ①②フロントバイザー(L/R)の高さ方向の位置決めは、ドアパネル上端より2mm下側にフロントバイザー上端を合わせて、ドアパネル上端の間を一定隙にする。(断面 d-d')
4. ③④リアバイザー(L/R)の長さ方向の位置決めは、リアドアセンターピラーガーニッシュ前端より3mm内側にリアバイザーの前端を合わせる。(断面 e-e')
5. ③④リアバイザー(L/R)の高さ方向の位置決めは、フロントバイザーと高さを合わせて、後端(下図丸部)の造形をドアパネルの段差形状に合わせる。(断面 f-f')

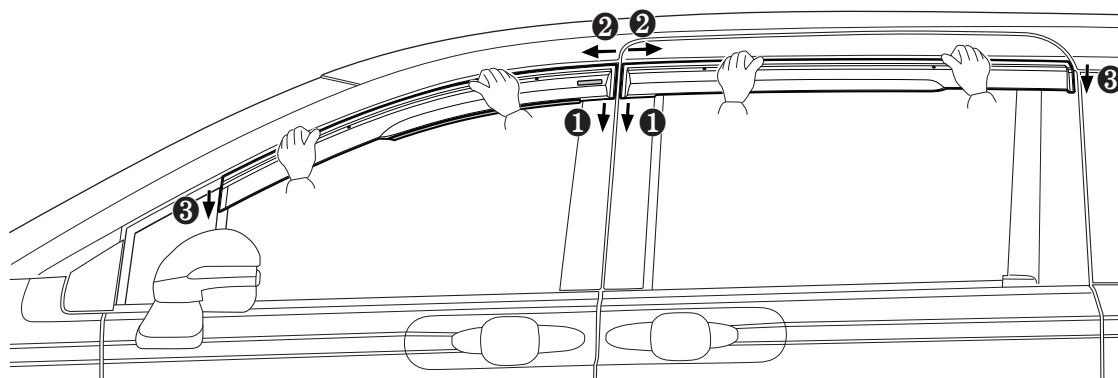
形状合わせ部



※リアバイザーの位置決めはフロントバイザーと高さを合わせる。



6. ①②③④フロント・リアバイザー(L/R)の両面テープの離型紙を下記順番で引き抜くように剥がし、テープ面を圧着する。



注 意

- ・両面テープの圧着不足は、ベンチレーテッドバイザーの剥がれの原因となるので、注意して下さい。
- ・作業環境として20℃以上の温度が保てる場所での作業を推奨します。
- ・離型紙を剥がす際、ベンチレーテッドバイザーがずれないように注意して下さい。

7. 各ウインドウガラスを徐々に閉めガラスランがガラスに巻き込まれないことを確認する。

注 意

- ・窓ガラスを上げる際、特にガラスランのブラケット部がガラスに巻き込まないことを確認して下さい。

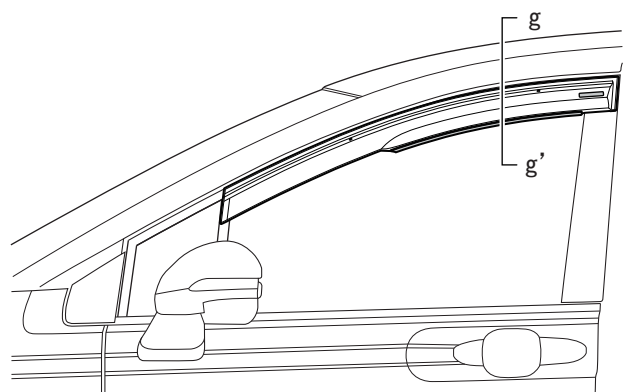
8. フロントウインドウガラスを上下させ、①②フロントバイザー(L/R)のゴムモールがガラスと接触しないことを確認する。

9. サンシェードフックを取り付ける。

10. 各部の取り付け状態が完全か、確認する。

取扱上の注意

- ・ベンチレーテッドバイザーは、モール部までフロントウインドウガラスを下げなければ、十分な効果を得られません。



- ・エアコンを外気導入にすると、一層効果を得られます。

